

～まなぶと遊ぶ～ くすのこ

開催日時 2024年8月10日（土）10：00～11：30
会場 楠福社会館1Fホール他
主催 楠地区民生委員児童委員協議会 四日市市
協力 楠地区社会づくり推進協議会 移動児童館 おもちゃ図書館くす

令和6年度の「くすのこ」を開催しました。内容は、『『あんどおりすさんに学ぶ子育てママの子どもを守る防災』をテーマとした体験型講演会』、「おもちゃ図書館で遊ぼう!」、「移動児童館の防災グッズ工作」、「バルーンアートプレゼント」、「保健師の育児相談」でした。



参加者は、子ども14名、大人21名、スタッフ46名の計81名でした。

防災講演会を中心として構成したこと、その講演内容がたくさんあったことで、おもちゃ図書館、防災グッズ工作、バルーンアート、育児相談に参加する時間的な余裕が少なくなりましたが、防災講演はとてもタイムリーで、参加者の方々はもちろん、スタッフも集中して話しに聞き入っていました。



体験型講演会の一つ目としては、左のような地図を使って津波からの避難演習をゲームの形で行いました。地図の真ん中辺りの学校にいる「あなた」は、『9mの高さの津波が来るといふ警報』が出たら、「どこへ」、「どのルート」で避難しますか

という課題に取り組みました。

グループで話し合っ「自分の答え」を記入した後、講師からそれぞれの避難先のメリットとデメリットの説明がありました。

「自分の答え」を具体的に考えてあったので、講師の方の話しがとてもよく理解できました。



また、怪我などをしている人を助ける方法として、古武道の技をもとにした腕の使い方を教えてもらいました。がむしゃらに抱き起こそうとしても重くてたいへんですが、添える腕の向きを変えるだけで、楽に怪我人を起こすことができることを実感しました。



1時間30分の時間を100%使って講演していただきましたので、参考にさせていただくことが多くて、ここで説明しきれるものではありません。

この稿の末尾に、イラストからでも理解していただきやすいと思った防災内容を3点紹介しました。ご覧ください。



左の写真は、「移動児童館の防災グッズ工作」の部屋の様子です。災害で停電になったときに役立つランタンを作っています。右が完成したランタンの一例です。



帰る際、すべての参加者に、ランタン製作キットが配られました。

我が家は、防災への備えができているかを考え直すよい機会になりました。



災害への備え

“あんどーりす”さんの防災に関する講演から



水害時 家具が浮きます！ 家具の固定は水害対策にもなります



冷蔵庫は壁にしっかり固定

キャスターを固定

寝室には家具を置かない、
または低い家具にする



❌ ドアが開かない



○ ドアが開く



避難経路を妨げないように置く

▶ 炊飯器やテレビなどの家具も強い揺れで飛ばされます。固定グッズや粘着マットで対策を。



災害用簡易トイレを是非準備しましょう

1日に何回トイレに行きますか？

1日にトイレに行く回数
×
日数 7日
×
家族の人数



災害用ホイッスルをいつも持ち歩きましょう “玉”がないものを準備するとい

